

## 介護負担感に関連する仕事と介護のコンフリクト要因の解明

○涌井 智子（東京都健康長寿医療センター研究所・筑波大学ヘルスサービス開発研究センター）

【背景】女性の社会進出や男性介護者の増加、未婚の子による介護形態の増加を背景に、仕事をしながら介護を担うものが増加している。実際、2016年の国民生活基礎調査の解析からは、同居する息子介護者において62.6%が、娘や嫁介護者ではそれぞれ52.1%、54.4%が有職者であることが明らかになっている<sup>1</sup>。Pearlinらのストレスモデル<sup>2</sup>によれば、仕事と介護のコンフリクトは役割負担の一つであり、負担感につながる一要因であるが、家族の介護を担いながら仕事をする以上、時間的、身体的、情緒的に仕事および介護への相互影響が生じることはやむを得ないことである。そのため、仕事と介護の相互影響におけるどの側面が、介護負担感に影響を与えるかを検討することで、働く介護者の介護負担感低減に向けた示唆を得ることを、本研究の目的とした。

【方法】2016年12月から2017年2月までの間に、調査協力に同意した企業2社の就業者3930名に対し、Webによるアンケート調査への回答を依頼した。回答を得られた1542名（回収率39.2%）のうち、親の介護を担っていて、回答に欠損のない117名を本研究の解析対象とした。調査内容は、短縮版Zarit介護負担感尺度（J-ZBL\_8）、介護者の性、年齢、収入、主観的健康観、介護期間、要介護者との同別居状態に加えて、仕事と介護のコンフリクト要因として、仕事および介護への影響要因15項目（例えば、「同僚に迷惑をかけていると感じる」「昇進の機会を逃すと感じる」「仕事が理由で、十分な介護を提供できないと感じる」等について「よくある」から「全くない」までの4件法）を設定した。仕事と介護のコンフリクトと介護負担感との関連を検討するため、重回帰分析を用いて、介護者の属性のみを投入したモデル、介護者の属性を調整した上で仕事と介護のコンフリクト要因それぞれを投入したモデル、そして基本属性を強制投入し仕事と介護のコンフリクト要因をステップワイズ法にて投入するモデルを検討した。モデルの当てはまりは調整済みR<sup>2</sup>により検討した。

本研究の実施に際しては東京都健康長寿医療センター研究部門倫理委員会の承認を得た。

【結果】介護者の属性は男性82.1%、女性17.9%、平均年齢52.4歳（SD=8.97, 24歳～70歳）であった。重回帰分析の結果から、基本属性を調整しても、仕事と介護のコンフリクト要因15項目すべてにおいて、それぞれ介護負担感と統計的に有意に正の関連を示していた（B=2.88～5.50: p<0.01）。基本属性を調整し、仕事と介護のコンフリクト要因すべてをステップワイズ法にて投入したモデルでは、「仕事に集中できない（B=1.88: p=0.039）」「仕事時間中に、介護のための電話をしなければならない（B=1.80: p=0.015）」「介護をしながら仕事を継続することができない（B=2.05: p=0.002）」「打ち合わせや出社の時間に遅れていかなければならない（B=1.98: p=0.044）」と頻繁に感じている介護者ほど負担感が高くなっていた。また基本属性のみを投入したモデルの調整済みR<sup>2</sup>が0.039であったのに対し、ステップワイズ法による最終モデルでは0.495であり、説明量が増加していた。

【考察】本研究で検討した仕事と介護のコンフリクト要因は、どの側面もすべて負担感に寄与しており、特に「仕事時間中の介護のための電話の必要性や会議等仕事に遅れることによって「仕事に集中できない」と感じたり、「介護をしながら仕事を継続できない」と頻繁に感じるものが負担感に大きく影響していた。仕事による介護への影響や、同僚への迷惑といった側面よりも、仕事に従事する間、仕事に集中できる環境や支援を検討することが、仕事と介護の両立につながる可能性が示唆された。

【謝辞】本研究の実施に際して平山亮准教授（大阪市立大学）、甲斐一郎教授（東京大学）の協力を得たことに感謝する。また本研究は日本学術振興会科学研究費基盤B（#21H03282）の助成を受けて行われている。

## 【参考文献】

1. 涌井智子.(2019). 家族介護のトレンド解析による家族の介護力の検討. 第29回日本家族社会学会大会, 神戸学院大学, 神戸. 2019年9月14-15日.
2. Pearlin, L.I., et al., Caregiving and the stress process: an overview of concepts and their measures. *Gerontologist*, 1990. 30(5): p. 583-94.

キーワード：家族介護者、仕事と介護のコンフリクト、負担感